

まだWindowsXP使ってるの?

みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム：申請団体募集!

WindowsXPのサポートが終了してすでに半年以上が経過しています。この機会にWindows7搭載のPCに乗り換えをご検討ください。

募集期間

2014 12/11(木)~2015 1/10(土)

※当日消印有効

寄贈対象

三重県を活動拠点とし、まちづくりや地域活性化に寄与する市民活動団体で、財政面などの諸事情で情報化が思うように進まない団体。

※原則として2015年2月14日(土)の寄贈式に出席できること。

応募方法

「みえイーパーツリユースPC寄贈プログラム申請書」に必要事項をご記入、押印の上、お近くの市民活動支援センターに直接お持ち込みいただくか、郵送でお送りください。

寄贈PC

Windows7搭載 ノート型、デスクトップ型 合計：50台(予定)

※PCの送料及び、ライセンス代等、PC1台あたり7,000円の自己負担額があります。その他、メモリ増設、付属品の有無など、詳しくは応募要項をご確認ください。

みえイーパーツリユースPC寄贈プログラムとは…

企業から提供されたパソコンを「再生(リユース)」して、市民活動団体に無償(手数料のみ負担)で寄贈し、その情報化を支援するプログラム。三重県全域が対象。

登録団体からのお知らせ

(主催) 日本FP協会三重支部 (後援) 三重県・松阪市・三重県金融広報委員会 他

三重FPフォーラム2015 IN 松阪 ワークショップ講座 受講生募集

第1回 日時 2月7日(土) 14:00~16:00 内容 あなたと家族の夢をかなえるための家計管理術 講師 杉井 隆氏	各講座共通 場所 松阪市市民活動センター 大会議室 定員 各講座20名(先着順) 締切 講座開催2日前まで 参加費 無料 申込 下記のTEL・FAX・E-mailにて受け付けます。
第2回 日時 2月14日(土) 14:00~16:00 内容 知って得する生命保険見直し術 (FP的視点でご紹介する「医療保障と貯蓄保障」) 講師 竹鼻 信之氏	NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 三重支部 TEL 059-221-5177 (10:00~16:00:土日祝除く) FAX 059-221-5178 (24時間受付) E-mail mie_bb@jafp.or.jp http://www.jafp.or.jp/shibu/mie
第3回 日時 2月21日(土) 14:00~16:00 内容 相続の豆知識とエンディングノートのすすめ 講師 喜畑 雄介氏	

センターからのお知らせ

2014 2015

◎ 年末年始休館 ▶ 12/30(火)~1/4(日)

※2014/12/29(月)は17時までで閉館し館内清掃など新年を迎えるための準備をさせていただきます。2015/1/5(月)から通常開館いたします。

ちょこっと編集後記……………

自分に足りないのは「人をお願いする力」ではないかと感じています。言い方、伝え方、タイミング、いろんな要素が詰まっていますからね～! 難しいものです。[S]

松阪発信! 市民活動の情報紙

アロマ

次号は2015年2月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。

AROMA

次回の原稿締切は2015/1/31(土)です。 担当/澤

松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598・25・3801

(予約専用) 0598・26・0108

FAX 0598・25・3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

利用

会議室

大会議室……机10 椅子30(610円)

小会議室1…机4 椅子12(160円)

小会議室2…机6 椅子18(210円)

小会議室3…机4 椅子12(160円)

小会議室の組み合わせ可。外会議室……机8 椅子24(410円)

料金は1時間。大小会議室の組み合わせ可。

機材等

印刷機(紙持込) /コピー機

マイク/プロジェクター 他

会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。

利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくかお電話にて予約後、ご提出ください。

情報提供

▼ 松阪市市民活動センターホームページ

http://www.katsudou.com

▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)

http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/

アクセス

松阪発信! 市民活動の情報紙

発行

松阪市市民活動センター

TEL 0598-25-3801

0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

A Resident Of Matsusaka Activity

~アロマ~ No.56

ちよっと気になる

編集者“E”の

今号は…

イ オウ ジ

団体

一般社団法人 i-oh-j

さんです

松

松阪市は全国的にも有数の救急車搬送の多い街だ。平成24年には全国で最多となり、今なお高い数値を保ったままだ。その一方、地元の医師不足により休日夜間の応急診療所が、平成26年4月から年間35日間の診療ができなくなったそう。市内に受診できる施設がなくなれば、病気を我慢して重症化し、死に至るケースも考えられる。また隣町に患者が押し寄せ、救急医療の崩壊がさらに進む可能性もある。その事態を防ぐために活動を始めたのが「一般社団法人i-oh-j(いおうじ)」だ。

き

きっかけは「松阪市からの相談だった」と話すのは代表理事・良雪雅(りょうせつ・まさし)さん。昨年10月、市の救急医療体制の危機を知った医師らが任意団体を発足。同年12月には山中松阪市長と医師・医学生が集まり、市の救急医療体制についての意見交換会を開催した。市長から市の救急医療の現状説明、医師の支援の申し出をうけ、14名の医師が集まり、翌年4月に一般社団法人i-oh-jを設立。松阪市の応急診療所への医師派遣を開始した。現在、県内、東京、大阪など全国各地から集まった有志25人の内科・外科の医師が35日間の勤務に交代であたっている。しかし「継続的な体制づくりのためには、もっと地元の医師の協力が必要」と語る良雪さん。そこで地元の医師・医学生向けのセミナー等を開催し、医師募集の呼掛けにも力をいれている。

私

私たちの住む町の医療を守るためには「医療や介護の垣根を越えて地域全体で取り組むことが必要」と語る良雪さん。団体名のi-oh-jは「医王寺」という地名に由来している。古来、地域の中心に寺があり、僧が医師としての役割も果たしてきた地に多い地名だ。同団体では、医者がもっとまちづくりに参画し、地域を結び付ける役割を担うことを目指している。医療に関する話を聞いてみたい、団体として何か一緒に取り組んでいきたいという方は、ぜひ問い合わせてみてほしい。

地域医療意見交換会の様子

な

なぜ、松阪市の救急車搬送が多いのだろうか。背景には市の救急医療体制がある。市では現在、夜間救急医療を「徒歩による応急診療所(一次救急)」と、「救

【問】090-8862-2010 / http://iohj.sakura.ne.jp

本紙は、再生紙と環境にやさしい植物性インキを使用しています。

2014.12.24

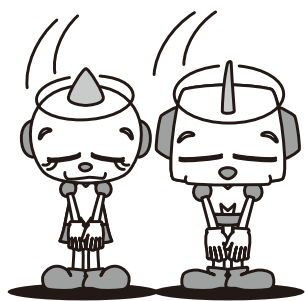
ニーズに合った講座を！ 講座に関するアンケート実施

当センターでは11月の1ヶ月間、「開催してほしい講座アンケート」を実施しました。事前に松阪市の「出前講座」の中から市民活動にまつわる内容を選択、更にセンタースタッフが講師を務める講座を加えた15項目の講座の中から「ご自身が参加したい講座」を選んでもらいました。アンケートはセンターの利用者のみでなく、広く一般の意見も取入れるため、氏郷まつりの会場でも実施しました。アンケートの総回答数は324件。アンケート結果をもとに人気の高かった講座や、センター利用者のニーズに適した講座を実際に開催します。



会議後清掃にご協力を！ 美化強化月間のお知らせ

当センターの会議室はご利用いただく皆さまの善意により清潔に保たれています。会議後の清掃は「忘れ物がないか」のチェックにもつながります。ですが、このところ、当センターでは会議後の“忘れ物”が大変多くなっています。きっと忘れ物をされた皆さんもお困りだと思います。会議室利用時にお渡しするチェックシートの項目にある掃除をせざるに慌てて帰られてしまうのでしょうか？
そこで、忘れ物軽減につながるよう「センター美化強化月間」を2015年2月より実施したいと考えています。窓口にてバケツと雑巾のセットをお渡しします。会議終了後に机の上の拭き掃除にご理解とご協力をよろしくお願いします。



三重県ではNPO法施行月である12月を「市民活動・NPO月間」として定めています。この期間中、県内各地で中間支援団体主導によるイベントが実施されます。プレ期間の11月も含め、松阪地区では当センターが主となり、4つの取組みを行いました。

地道なPR活動を継続



氏郷まつり de 市民活動PR



11月3日(月・祝)、第53回氏郷まつりに出店しました。「NPOってナニ？」などのパネルを掲示して市民活動・NPOのPRに努めました。この他、当センターで今後「開催してほしい講座」に関するアンケートも実施しました。(詳しくはアンケート実施の記事をご覧ください) また、当センターの出店ブースの一部を登録団体に提供した共同出店スペースには「介護支援事業所こだま」さんが出店。日頃の活動のPRとしてチラシやポケットティッシュを手配りされました。当センターでは、NPOについての理解と共感を得るために、こうした地道な活動も継続して取り組みます。

会話も弾むサロン形式

NPOお気軽サロンを開催



12月8日(月)、「NPOお気軽サロン」を開催しました。当センターとしては今年で2年目の実施となります。この日はNPOや行政職員17人が参加し、セクターの垣根を越えた交流となりました。冒頭、自己紹介とともに活動内容を発表してもらったのですが、皆さんの活動そのものが今回のテーマである「街を元気にするアイデア」だと感じました。NPOは行政や企業の手が及ばない、地域や社会の課題解決に取り組んでいます。参加者同士「日頃の悩みや相談に乗ってもらえる場」として、また「情報交換の場」としてもこうした取り組みの必要性を感じました。参加者からも「次回はいつですか？」との嬉しい言葉もいただきましたので、今年度中に、NPOお気軽サロンを再度開催したいと考えています。詳細などはHPやFacebookページなどを通じてお知らせしますので、次回開催を楽しみにしてくださいね。

全ての事業提案が採択！ 公開プレゼン開催



11月16日(日)、住友理工「夢・街・人づくり助成金」の公開審査会(プレゼンテーション)を開催しました。第1次書類審査を通過した5つの団体によるプレゼンが行われ、見事、全ての団体が採択となりました。また、昨年度の採択団体の中から優秀な事業に贈られる奨励賞の発表もありました。奨励賞に選ばれた「松阪ぎゅうっと福祉メディア局」には奨励金として3万円が贈呈されました。今年度採択された団体は、奨励賞を目指してより良い活動に取り組んでください。当センターと住友理工(株)はこの助成事業を継続することで、この地域の市民活動を応援していきます。

住友理工 夢・街・人づくり助成金

夢づくりスタート部門

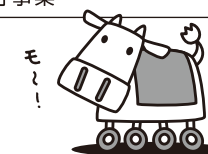
NPO法人 三重音楽療法地域推進協会 ミュージックノーマライゼーション推進事業 ～ライブスペース明和～
松阪市視覚障害者協会 松阪市視覚障害者協会設立90周年記念大会
ミエメン ミエメンのPSR(パパの社会的責任)パパの育児を応援する「ミエメン子育て動画」制作事業

街・人づくり部門

一般社団法人 i-oh-」 救急医療体制確保のための住民啓発事業
松阪 成長戦略研究会 豪商のまち松阪『松阪通行手形』で大連携、街中でおもてなし

昨年度の優秀事業に送られる奨励賞

松阪ぎゅうっと福祉メディア局 地域密着福祉情報誌発行事業
--



リーフレット自作支援

NDS(株)60周年記念感動基金講座 団体のリーフレットを作ろう！



11月～12月にかけて4回連続講座「団体のリーフレットを作ろう！」を実施しました。この事業は、愛知県名古屋市に本社を置くNDS(株)の60周年記念感動基金の寄付で運営された事業で、津市市民活動センターと松阪市市民活動センターが連携して実施しました。第1回が「団体の情報の洗い出し」、第2回は「洗い出した情報の整理」、第3回が「整理した情報のビジュアル化」、最後の第4回は「ビジュアル化したリーフレットのプレゼン」という流れで実施し、参加者自らが実際にリーフ

レットを作れるように行程を学んでもらいました。最終のプレゼンで大賞に選ばれた「NPO法人どんぐりの会」の代表：木崎さんからは「情報発信を一連の流れで学べたことが良かった。こうした取組みを応援してくれる企業の存在も素晴らしい」と嬉しいコメントをいただきました。惜しくも大賞を逃した団体の皆さんも、リーフレットの前案(ラフデザイン)までは完成しています。あと少しですので、リーフレットを完成させて団体の活動PRに活用してくださいね！

